

### 東松峠のウォーキング コースを拡充!!

福島県では、車の通行が不能となっている県道別舟渡線（旧越後街道の東松峠）を歩く県道として、整備・利活用し、地域の活性化につなげるための取り組みを地域の皆様や市町村と協働で行っています。

今年度の東松峠ウォーキング大会からは、〈新ルート（尾根道）を歩く周遊コース〉や〈会津坂下町と西会津町を行き来する縦走コース（両側から出発）〉が追加されました。利用者のレベルに合わせて歩くことが可能になり、別コースから来た人と挨拶を交わす場面も。

これからも地域の皆様とともに歴史ある街道の保全と、利活用の促進に取り組んでいきます。



- 1: 整備前の様子。勾配がきつく木を掴みながら歩いていました。
- 2: 整備後の様子。階段が設置され、より安全に歩けるようになりました。
- 3: 唐鍬で、急坂に階段をつけている様子。足場が悪いので慎重に作業。
- 4: 枯れた木を間伐している様子。切った木は資材として丸太階段に使用。
- 5: 作業終了後に記念撮影。晴天で紅葉も見頃だったので清々しく作業ができました。



今後利用者の方の声に耳を傾けながら、地域一体となった取り組みを継続させていきたいと考えております。

洞門跡から峠の茶屋跡までの尾根道は、かつて炭焼きや柴（雑木の小枝）を出す人が通っていた道でした。東松峠を護る会は、この新ルートが通れるようになれば周遊でき、今後の活用につながるかと考え、昨年度より整備に取り組みられています。

### 峠の茶屋跡側の新ルート、急坂に階段をつくる

今年度は11月4日に整備が行われ、高寺地区地域づくり協議会や会津坂下町役場などから50名が参加し、昨年度のウォーキング大会で「急坂で勾配がきつく危険」と指摘があった箇所を階段をつくりました。休憩時には歴史街道の魅力を味わおうと峠の茶屋体験として、ドリッポコーヒーや会津の銘菓などを楽しみました。

# 東松峠への道案内として簡易看板を設置



天屋・本名地区から三本松跡駐車場までの概況



新ルート（尾根道）の峠の茶屋跡側入口に簡易看板を設置している様子。  
木板と鋼管を組み合わせた作りのため、誘導板の差し替えが容易にできる。

東松峠の利用者から「天屋・本名地区から三本松跡駐車場までの道のりが複雑で分かりにくい※上図」との意見を頂き、平成30年度より案内誘導計画について地域の皆様と話し合いを重ねてきました。結果として、「地元で維持管理が可能な簡易看板を試験的に設置する」「景観に配慮し、最小限の個数とする」という方針にまとまりました。

今年度10月に東松峠を護る会と高寺地区地域づくり協議会の連携により、簡易看板が5基設置されました。設置箇所は、天屋・本名地区から三本松跡駐車場まで3基（※上図）と新ルート（尾根道）入口2基（※左写真）。

東松峠を護る会会長は「今後の利用状況を見ながら、迷う心配がなくなったか判断していきたい。また、緊急時に自力で麓地区まで下りられる環境づくりを目指し、安全性を高めていきたい」と語っていました。

## 古川利意美術館

「一里塚にて 元気良好 会津嶺見える」



古川利意さんは会津地方で活躍した美術教師でした。東松峠をはじめ、会津坂下町にまつわる絵を数々残し、東松峠の案内人もされていました。

今回紹介する絵は、2023年の「東松峠ウォーキング大会」のチラシでも使用されたものです。古川先生が一里塚について解説している様子が描かれています。東松峠の一里塚は道の両側に大きな男壇・女壇（直径約6m）が残り、東側から会津平野の眺望絶佳を楽しめます！

※高寺地区コミュニティセンターに複製が10点程常設。〒969-6518 福島県河沼郡会津坂下町大字片門字宮ノ下19000、電話：0242-2852001

ご意見・お問い合わせ

福島県会津若松建設事務所企画調査課

MAIL : wakamatsu.ken.kikaku@pref.fukushima.lg.jp  
TEL : 0242-29-5455 / FAX : 0242-29-5459

福島県喜多方建設事務所企画調査課

MAIL : kitakata.ken.kikakutyousaka@pref.fukushima.lg.jp  
TEL : 0241-24-5707 / FAX : 0241-24-5729

